





既往症・原因・主要症状・経過等	処方・手術・処置等
<p>10/30 (水) 術後1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に新たな症状等なし。</li> <li>・昼食から普通食</li> <li>・本日から手術後医学管理実施</li> <li>・医師、理学療法士等と共同してリハビリテーション総合実施計画書を作成、患者に内容を説明の上交付、写しの添付省略</li> <li>・基本的動作能力回復のため、運動器リハビリテーション開始</li> <li>・機能訓練の内容の要点及び実施時刻の記録の記載省略</li> </ul> <p>(整形外科 山本)</p> <p>・麻酔後回診：特に問題なし。 (麻酔科 高橋)</p>	<p>フリライオン静注 200mg 1V オノアクト50〔注射用〕 1V ワスキュレート静注用 4mg 5A アルチハ静注用 2mg 2V (*薬剤の一部省略)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脊椎固定用材料</li> <li>・脊椎ロッド 2個</li> <li>・脊椎スクリュー(可動型) 6本</li> <li>・トランスバース固定器 1個</li> <li>・人工骨</li> <li>・専用型・椎体固定用・1椎体用 2個</li> <li>・腰椎単純(3回目) 2方向(デジタル・電子画像管理)</li> <li>・呼吸心拍監視(24時間)</li> <li>・間歇的空気圧迫装置使用</li> </ul>
<p>10/31 (木) 術後2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に新たな症状等なし。運動器リハビリテーション続行</li> </ul> <p>(整形外科 山本)</p>	<p>10/30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・末梢血液一般</li> <li>・生化学的検査 TP, Alb, AST, ALT, LD, T-Bil, ALP, CHE, CK, BUN, Cre, UA, Glu, Na, Cl, K, T-cho</li> <li>・呼吸心拍監視(24時間)</li> <li>・持続点滴 ワイーンF注 2V</li> <li>・テルモ生食TK 100mL 2キット</li> <li>・セフメジンα注射用 1g 2V</li> <li>・Rp) ケンタン錠 60mg 2錠</li> <li>・フエチジンD錠 10mg 2錠 (分2朝夕食後)×3日分</li> <li>・運動器リハビリテーション 1単位</li> </ul> <p>10/31</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・末梢血液一般</li> <li>・生化学的検査 10/30 と同じ。</li> <li>・持続点滴 ワイーンF注 2V</li> <li>・テルモ生食TK 100mL 2キット</li> <li>・セフメジンα注射用 1g 2V</li> <li>・運動器リハビリテーション 2単位</li> </ul>

品名	規格・単位	薬価
<b>内用薬</b>		
アトルバスタチン錠 10mg	10mg 1錠	76.50
ケンタン錠 60mg	60mg 1錠	6.10
チラーヂンS錠 50	50μg 1錠	9.60
バルトレックス錠 500	500mg 1錠	475.20
フエチジンD錠 10mg	10mg 1錠	13.80
メチコバール錠 500μg	0.5mg 1錠	19.40
レバミピド錠 100mg	100mg 1錠	10.20
ロキソプロフェン錠 60mg	60mg 1錠	7.80
<b>注射薬</b>		
アルチハ静注用 2mg	2mg 1瓶	2,495.00
ワイーンF注	500mL 1瓶	161.00
オノアクト50〔注射用〕	50mg 1瓶	6,486.00
サルソニン静注 0.5g	5% 10mL 1管	59.00
セフメジンα注射用 1g	1g 1瓶	396.00
テルモ生食TK 100mL	100mL 1キット	164.00
パニロイシン注射液 100mg	100mg 1管	709.00
アプトウ糖注射液 5% 20mL	5% 20mL 1管	61.00
フリライオン静注 200mg	200mg 2mL 1瓶	9,947.00
プロボフール注「ワイル」 0.1%	200mg 20mL 1管	936.00
ホスミン注 1mg	0.1% 1mL 1管	92.00
ワスキュレート静注用 4mg	4mg 1管 (溶解液付)	270.00
<b>外用薬</b>		
笑気ガス (気液剤)	1g	4.10
セボフレノン吸入麻酔液	1mL	63.40
<b>材料価格基準抜粋</b>		
液化酸素CE	1L	0.18
脊椎ロッド	1個	45,300.00
脊椎スクリュー(可動型)	1本	103,000.00
トランスバース固定器	1個	66,500.00
人工骨 専用型・椎体固定用・1椎体用	1個	174,000.00

◎内用薬欄の○の薬剤は、「一般名処方」医薬品である。

問1 解答

診療報酬明細書

平成 25 年 10 月分

診療科 内科(除外) 13 0139998

1 ① 2 ② 3 ③ 4 ④ 5 ⑤ 6 ⑥ 7 ⑦ 8 ⑧ 9 ⑨ 10 ⑩ 11 ⑪ 12 ⑫

Table with columns for patient ID, insurance type, and other identifiers.

被保険者証・被保険者番号 1000100・5963

氏名 山本花子 生年 25. 2. 1

東京都千代田区... 診療所

Main table with columns for date, diagnosis, procedure, and charges.

問1 解説

協会けんぽ(全国健康保険協会管掌健康保険)単独の家族外来である。したがって、レポートは「医科入院外」を使用し、「保険種別1」欄の「1」、「保険種別2」欄の「1」及び「本人・家族」欄の「6」を○で囲む。

10/7(月) 内科

再診料

・明細書発行体制等加算の届出診療所における再診であるので、A001再診料60点+同「注10」明細書発行体制等加算1点=70点を算定する。

検査料

・B-V(静脈採血)は、D400血液採取(1日につき)の「1」静脈16点を算定する。・末梢血一般検査は、D005血液形態・機能検査の「5」21点を算定する。

投薬料

・内服薬2剤(薬剤2種類)の院外処方せんを交付しているため、F400処方せん料の「2」68点を算定する。

医学管理料

また、アトルバスタチン錠については、一般的な名称による処方せんの交付であるので2点を加算する。

検査料

・生化学検査(Ⅰ)のTTP(総蛋白)、Aib(アルブミン)、AST、ALT、γ-GT、LD、T-Bil(総ビリルビン)、ALP(アルカリホスファターゼ)CK、BUN、Cre(クレアチニン)、UA(尿酸)、Glu(グルコース)、Na(ナトリウム)、Cl(クロール)、K(カリウム)、T-cho(総コレステロール)、TG(中性脂肪)、HDL-cho(HDLコレステロール)、LDL-cho(LDLコレステロール)は、すべてD007血液化学検査の「注」に掲げられている検査であるので、項目数による所定点数により算定する。

投薬料

この場合は、18項目(NaとClは併せて1項目、HDL-cho、T-cho及びLDL-choは主たるもの2項目)であるので、「10項目以上」の121点を算定する。

10/15(4) 内科

再診料  
医学管理料

- ・10/7と同じ。(再診料70点、外来管理加算52点)
- ・10/7と同じ。(特定疾患療養管理料225点)

皮膚科

再診料

- ・複数の診療科を標榜する同一の保険医療機関において、同一日に他の疾病について別の診療科を初診として受診しているので、A000初診料の「注3」の135点を算定する。
- ・内服薬2剤(薬剤2種類)の院外処方せんを交付しているので、F400処方せん料の「2」68点を算定する。

また、ロキソプロフェンNa錠については、一般的名称による処方せんの交付であるので2点を加算する。

10/18(金) 皮膚科

再診料  
注射料

- ・10/7と同じ。(再診料70点、外来管理加算52点)
- ・帯状疱疹に対し静脈注射を行っているので、注射実施料のG001静脈内注射の30点を算定する。

薬剤料  
ブドウ糖注射液5% 20mL 1A    5% 20mL1管    ¥61.00×1A = ¥61.00  
サルソニン静注0.5g 1A    5% 10mL1管    ¥59.00×1A = ¥59.00  
計    ¥120.00 → 12点

10/22(水) 皮膚科

再診料  
注射料  
投薬料

- ・10/7と同じ。(再診料70点、外来管理加算52点)
- ・薬剤料を含め10/18と同じ。(静脈内注射30点、薬剤料12点)
- ・内服薬2剤(薬剤2種類)の院外処方せんを交付しているのので、F400処方せん料の「2」68点を算定する。

また、ロキソプロフェンNa錠等については、一般的名称による処方せんの交付であるので2点を加算する。

- ・10/7と同じ。(再診料70点、外来管理加算52点)
- ・内服薬3剤(薬剤3種類)の院外処方せんを交付しているのので、F400処方せん料の「2」68点を算定する。

また、ロキソプロフェンNa錠等については、一般的名称による処方せんの交付であるので2点を加算する。

10/29(水) 皮膚科

再診料  
投薬料

- ・10/7と同じ。(再診料70点、外来管理加算52点)
  - ・内服薬3剤(薬剤3種類)の院外処方せんを交付しているのので、F400処方せん料の「2」68点を算定する。
- また、ロキソプロフェンNa錠等については、一般的名称による処方せんの交付であるので2点を加算する。

問2解答

診療報酬明細書

平成 25年 10月分

0514786

1 ①注：国 ①後期 ①甲 ①本人 ①大人  
2 ②費 ②後 ②期 ②甲 ②本人 ②大人  
3 ③費 ③後 ③期 ③甲 ③本人 ③大人  
4 ④費 ④後 ④期 ④甲 ④本人 ④大人  
5 ⑤費 ⑤後 ⑤期 ⑤甲 ⑤本人 ⑤大人  
6 ⑥費 ⑥後 ⑥期 ⑥甲 ⑥本人 ⑥大人  
7 ⑦費 ⑦後 ⑦期 ⑦甲 ⑦本人 ⑦大人  
8 ⑧費 ⑧後 ⑧期 ⑧甲 ⑧本人 ⑧大人  
9 ⑨費 ⑨後 ⑨期 ⑨甲 ⑨本人 ⑨大人  
10 ⑩費 ⑩後 ⑩期 ⑩甲 ⑩本人 ⑩大人

氏名 大崎 五郎  
性別 男  
生年月日 25年 10月 28日  
住所 東京都文京区...

診療科 皮膚科  
病名 腰部脊神経狭窄症(主)

診療日 10月 28日  
診療時間 12時 - 18時  
診療回数 2回  
診療料 325 × 1 = 325  
薬剤料 1188 × 2 = 2376  
合計 2701

日	診療	回数	点	公費分点数	備考
11	初診	1回	3,006		
12	診察	3回	12		
13	注射	2回	22		
14	投薬	2回	14		
15	診察	2回	22		
16	注射	2回	22		
17	投薬	2回	14		
18	診察	2回	22		
19	注射	2回	22		
20	投薬	2回	14		
21	診察	2回	22		
22	注射	2回	22		
23	投薬	2回	14		
24	診察	2回	22		
25	注射	2回	22		
26	投薬	2回	14		
27	診察	2回	22		
28	注射	2回	22		
29	投薬	2回	14		
30	診察	2回	22		
31	注射	2回	22		
32	投薬	2回	14		
33	診察	2回	22		
34	注射	2回	22		
35	投薬	2回	14		
36	診察	2回	22		
37	注射	2回	22		
38	投薬	2回	14		
39	診察	2回	22		
40	注射	2回	22		
41	投薬	2回	14		
42	診察	2回	22		
43	注射	2回	22		
44	投薬	2回	14		
45	診察	2回	22		
46	注射	2回	22		
47	投薬	2回	14		
48	診察	2回	22		
49	注射	2回	22		
50	投薬	2回	14		

医 科 入 院

平成25年10月分

患者氏名

大崎 五郎

保険者番号 0 6 2 7 9 8 9 3

27・4846

70	*腰椎X-Pデジタル2方向 (電画)	287×2
80	* <u>①</u> ハシコ *運動器リハビリテーション科 (1) 1単位 (早リ加) (初期) *運動器リハビリテーション科 (1) 2単位 (早リ加) (初期) 実施日数 2日 疾患名 腰部脊柱管狭窄症 手術日 10月29日	300×1 175×1 30×1 45×1 350×1 60×1 90×1
90	*一般7, 臨修(協力型), 録管, 医20, 急50, 夜100, 環境, 安全1, 感防1, 患中禁 *一般7, 急50, 夜100, 環境	3,399×1 2,184×3

問2解説

○ 健保組合単独の本人入院である。したがって、レセプトは「入院院」を使用し、「保険種別1」欄の「1」、「保険種別2」欄の「1」及び「本人・家族」欄の「1」を○で囲む。  
なお、「保険種別1」及び「保険種別2」については、○で囲むことを省略しても差支えない。

10/28(月)

本年10月12日に当科外来受診、本日手術目的で入院した患者である。

医学管理等

・薬剤管理指導料の施設基準適合届出病院であり、薬剤師が初回の薬剤管理指導を行っているので、B008薬剤管理指導料の「3」325点を算定する。  
\*レセプトには、算定の対象となった指導目を記載する。

検査料

・末梢血液一般検査はD005血液形態・機能検査の「5」21点、末梢血液像(自動機械法)は同検査の「3」15点を算定する。  
・CRPは、D015血漿蛋白免疫学的検査の「1」C反応性蛋白(CRP)16点を算定する。

画像診断料

・検体検査判断料は、手術後医学管理料を算定する患者であるため、D026検体検査判断料の「2」血液学的検査判断料、同「3」生化学的検査(1)判断料は算定できないので、同「5」免疫学的検査判断料144点のみ算定し、検定検査管理加算(Ⅱ)の施設基準適合届出病院における入院患者であるので、同「注3」の「ロ」検体検査管理加算(Ⅱ)100点を算定する。  
・腰椎単純X-P(2回目)2方向(デジタル、電子画像管理)  
①デジタル撮影料68点(E002「1」の「ロ」)+68点/2=102点  
②電子画像管理加算57点(エックス線診断料「通則4」の「イ」)  
③写真診断85点(E001の「1」の「イ」)+85点/2=127.5点→128点  
④計(①+②+③)287点を算定する。  
・A100一般病棟入院基本料の「1」7対1入院基本料1,566点+同「注3」の「イ」14日以内の期間450点+A218他域加算の「1」1級他8点+A204-2臨床研修病院入院診療加算の「2」協力型(入院初日)20点+A207診療録管理加算(入院初日)30点+A207-2医師事務作業補助体制加算(入院初日)の「2」20対1610点+A234医療安全対策加算1(入院初日)85点+A234-2感染防止対策加算1(入院初日)400点+A234-3患者サポート体制充実加算(入院初日)70点+A207-3急性期看護補助体制加算の「3」50対1急性期看護補助体制加算120点+同「注2」の「ロ」夜間100対1急性期看護補助体制加算5点+A219療養環境加算25点=3,399点を算定する。

入院料

入院食事療養費  
・昼から普通食を提供しているので、次のとおり算定する。  
①入院時食事療養(1)(1食につき)640円×2食=1,280円  
②食費加算(1日につき)50円  
計(①+②)1,330円  
・標準負担額260円(1食につき)×2食=520円

10/29(火)

医学管理料 肺血栓塞栓症予防のため、間歇的空気圧迫装置を使用して医学管理を行っている

注射料

で、B001-6肺血栓塞栓症予防管理料305点を算定する。  
・注射実施料のG004点滴注射の「2」95点は、手術当日に手術に関連して行う注射の手術料であるので術前術後にかかわらず算定できない。  
薬剤料  
サイエンス注500mL 2V 500mL1V ¥161.00×2V = ¥322.00

手術料

テルモ生食TK 100mL 2キット 100mL 1キット ¥164.00×2キット = ¥328.00  
 セラメジンα注射用1g 2V 1g 1V ¥396.00×2V = ¥792.00  
 計 ¥1,442.00 → 144点

●脊椎固定術・後方椎体固定 (L3-4, L4-5) は、K142の「3」後方椎体固定37,420点十同「注1」(1椎間増すごとに所定点数の100分の50を加算する。) 18,710点 = 56,130点を算定する。

\*レセプトには、手術名に併せて手術日を記載する。

●閉鎖循環式全身麻酔489分 (仰臥位24分、伏臥位465分) は、厚生労働大臣が定める麻酔が困難な患者以外の場合であるので、次のとおり算定する。

①基本となる2時間 (120分) は、L008マスコ又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔 (2時間まで) の「3」(伏臥位で麻酔) の「ロ」 9,150点を算定する。

②残りの369分のうち、360分 (伏臥位345分+仰臥位15分) は、L008の「注2」(2時間を超え30分又はその端数を増すごと) の「ハ」 900点×12 = 10,800点を算定する。

③残りの9分 (仰臥位9分) は、L008の「注2」(2時間を超え30分又はその端数を増すごと) の「ホ」 600点を算定する。

④計 (①+②+③) 20,550点

●液化酸素CE 300Lを使用しているの、同「注3」により算定した次の点数を算定する。

液化酸素CE 1L ¥0.18×使用料300L×補正率1.3 = ¥70.20→7点

●薬剤料

笑気ガス (住友精化) 800g 1g ¥4.10×800g = ¥3,280.00  
 セプロロン吸入麻酔液 240mL 1mL ¥63.40×240mL = ¥15,216.00  
 プロボファン注「ワライシ」[1%] 200mg/20mL 1A 200mg/20mL 1A ¥936.00×1A = ¥936.00  
 ワイーンF注500mL 4V 500mL 1V ¥161.00×4V = ¥644.00  
 バニヤイン注100mg 1A 100mg 1A ¥709.00×1A = ¥709.00  
 セラメジンα注射用1g 2V 1g 1V ¥396.00×2V = ¥792.00  
 ホスミン注1mg 0.1mL 1A 0.1% 1mL 1A ¥92.00×1A = ¥92.00  
 プリチオノン静注200mg 1V 200mg/2mL 1V ¥9,947.00×1V = ¥9,947.00  
 オノアクト50 [注射用] 50mg 1V 50mg 1V ¥6,486.00×1V = ¥6,486.00  
 マスキュレート静注用4mg (溶解液付) 5A 4mg 1A ¥270.00×5A = ¥1,350.00  
 アルチノ静注用2mg 2V 2mg 1V ¥2,495.00×2V = ¥4,990.00  
 計 ¥44,442.00 → 4,444点

●特定保険医療材料

脊椎ロッド 2個 1個 ¥45,300×2 = ¥90,600  
 脊椎スクリュー (可動型) 6本 1本 ¥103,000×6 = ¥618,000  
 トランスバー固定器 1個 1個 ¥66,500×1 = ¥66,500  
 人工骨 専用型・椎体固定用・1椎体用 2個 1個 ¥174,000×2 = ¥348,000  
 計 ¥1,123,100 → 112,310点

画像診断料

・腰椎単純X-P (3回目) 2方向 (デジタル、電子画像管理)

①デジタル撮影料68点 (E002「1」の「ロ」) +68点/2 = 102点  
 ②電子画像管理加算57点 (エックス線診断料「通則4」の「イ」)  
 ③写真診断85点 (E001の「1」の「イ」) +85点/2 = 127.5点 → 128点  
 ④計287点 (①+②+③) を算定する。

・呼吸心拍監視 (24時間) は、閉鎖循環式全身麻酔と同一日に行われているので算

10/30例

入院料  
 ・A204-2臨床研修病院入院診療加算 (協力型)、A207診療録管理体制作加算、A207-2医師事務作業補助体制加算、A234医療安全対策加算1、A234-2感染防止対策加算1及びA234-3患者サポート体制充実加算を除いて、10/28と同じ。(入院料 2,184点)

入院食事療養費・朝から禁食のため算定できない。

医学管理等  
 ・手術後医学管理料算定病院において、L008の閉鎖循環式全身麻酔下の手術を行った患者であり、前日に手術料を算定しているの、本日から3日間 (当月については2日間) B001-5手術後医学管理料1,188点を算定する。

検査料

・末梢血液一般検査、生化学的検査のTP (総蛋白)、Alb (アルブミン)、AST、ALT、LD、T-Bil (総ビリルビン)、ALP (アルカリホスファターゼ)、GHE、CK (クレアチンキナーゼ)、BUN、Cre (クレアチニン)、UA、Glu、Na (ナトリウム)、Cl (クロール)、K (カリウム)、T-cHo (総コレステロール) 及び呼吸心拍監視は、手術後医学管理料に含まれ別に算定できない。

・検体検査判断料は、手術後医学管理料を算定する患者であるため、D026検体検査判断料の「2」血液学的検査判断料及び同「3」生化学的検査 (1) 判断料は、算定できない。

・内服薬  
 薬剤料  
 ケンタ錠60mg 2錠 (分2朝夕食) 1錠 ¥6.10×2錠 = ¥12.20  
 フラモジゾン錠10mg 2錠 (分2朝夕食) 1錠 ¥13.80×2錠 = ¥27.60  
 計 ¥39.80 → 4点  
 4点×3日分 = 12点

投薬料

調剤料 7点 (1日につき) × 2日  
 \*調剤料は、内服薬が3日分投与されているので、10/31も算定できる。  
 ・1日分の注射量が500mL以上であるので、G004点滴注射の「2」 95点 (注射実地料) を算定する。

注射料

ワイーンF注500mL 2V 500mL 1V ¥161.00×2V = ¥322.00  
 テルモ生食TK 100mL 2キット 100mL 1キット ¥164.00×2キット = ¥328.00  
 セラメジンα注射用1g 2V 1g 1V ¥396.00×2V = ¥792.00  
 計 ¥1,442.00 → 144点

麻酔料

・麻酔管理料 (1) の施設基準適合届出保険医療機関であり、麻酔科医が麻酔実施日の前日に麻酔前の診察を行い、本日麻酔後の診察を行っているの、L009麻酔管理料 (1) の「2」マスコ又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を行った場合の900点を算定する。

・医師が理学療法士等と共同してリハビリテーション総合実施計画書を作成し、患者に内容を説明して運動器リハビリテーションを行っているの、次のとおり算定する。

リハビリテーション  
 ①H003-2リハビリテーション総合計画評価料 300点  
 ②H002運動器リハビリテーション (1) 1単位 175点×1 = 175点  
 早期リハビリテーション加算 (1単位につき) 30点×1 = 30点 (H002の「注3」)  
 初期加算 (1単位につき) 45点×1 = 45点 (H002の「注4」)

入院料  
入院費取崩費  
・10/29と同じ。(入院料 2,184点)  
・10/28と同じ。

- ①入院時食事療養 (1) 1,280円
- ②食堂加算50円
- 計 (①+②) 1,330円
- ・標準負担額 520円

10/31(木)

医学管理費  
・手術後医学管理料は、10/30と同じ。(1,188点)

検査料  
・末梢血液一般検査、生化学的検査は、10/30と同じ。(算定不可)

注射料  
・10/30と同じ。(注射実施料95点、薬剤料144点)

リハビリ  
・H002運動器リハビリテーション(1) 2単位 175点×2=350点

テーション  
早期リハビリテーション加算(1単位につき) 30点×2=60点 (H002の「注3」)

初期加算(1単位につき) 45点×2=90点 (H002の「注4」)

入院料  
・10/29と同じ。(入院料 2,184点)

入院費取崩費  
・朝から普通食を提供しているので、次のとおり算定する。

①入院時食事療養 (1) (1食につき) 640円×3食=1,920円

②食堂加算 (1日につき) 50円

計 (①+②) 1,970円

・標準負担額260円(1食につき)×3食=780円

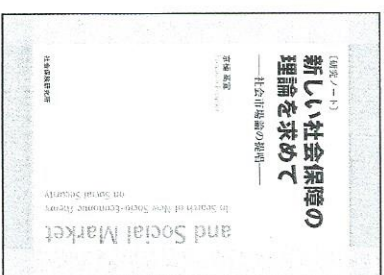
京極 高宣著

〔研究ノート〕

# 新しい社会保障の理論を求めて

社会市場論の提唱——

B6・180頁・定価：本体2,000円+税



社会保障の発展がいたずらに財政負担を増やすだけでなく、国民経済の発展を妨げるなどという新自由主義的謬見を理論的に批駁し、21世紀の国民経済にとって、社会市場の創造と成長こそが活路であることを提唱する。

発行 社会保険研究所

〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル ☎(03)3252-7901 (代) FAX(03)3252-7977

## 療養の給付の取扱いについて

「療養料の点数の取扱いについて」(厚生労働省保険局医療課長・同歯科医療管理官通知、平成25年11月29日・保医発1129第4号)を整理し、当研究所発行の『医科点数表の解釈(平成24年4月版)』の該当項目を示した。なお、保医発1129第4号は平成25年12月1日から適用された。

頁	欄	行	変更前	変更後
313	右	上から12～13行目	算定できる。また、Scorpion-ARMS法を応用したリアルタイムPCR法を用いてEGFR遺伝子検査を実施した場合は、本区分「2」の抗悪性腫瘍剤感受性検査の所定点数を算定する。	算定できる。また、リアルタイムPCR法を用いたリアルタイムPCR法を用いてEGFR遺伝子検査を実施した場合は、本区分「2」の抗悪性腫瘍剤感受性検査の所定点数を算定する。
			〔下線は平成24年8月31日保医発0831第5号にて追加済み、2012.9.11発行の本誌No.2507参照〕	〔下線は平成24年8月31日保医発0831第5号にて追加済み、2012.9.11発行の本誌No.2507参照〕
313	右	上から13行目	(平24. 8. 31 保医発 0831 5)	(平24. 8. 31 保医発 0831 5) (平25. 11. 29 保医発 1129 4)

### 点数表の基本とレセプト記載の原則 レセプト作成テキストブック(医科)

平成25年4月版 **好評発売中!** 定価 3,465円(本体3,300円+税) / B5判532頁  
ISBN978-4-7894-1976-6 C3047 K3300E

レセプトの作り方から医療事務を学ぶ一冊です



商品No.18115

### 医療保険制度の概要と関係法令 保険診療 基本法令テキストブック(医科)

平成25年4月版 **好評発売中!** 定価 2,100円(本体2,000円+税) / B5判252頁  
ISBN978-4-7894-1995-6 C3047 K2000E

保険診療・請求事務に必要な基礎知識をこの一冊に凝縮  
医療機関におけるさまざまなスタッフ向けのテキストとして好評です

商品No.18315



### 診療報酬請求事務能力認定試験(医科) 最新問題と受験対策

平成25年4月版 **好評発売中!** 定価 2,625円(本体2,500円+税) / B5判288頁+解答56頁  
ISBN978-4-7894-1914-7 C3047 K2500E

「診療報酬請求事務能力認定試験」の合格対策に最強の問題集!



商品No.18214

株式会社 **社会保険研究所** <http://www.shaho.co.jp/shaho/>

〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル TEL.03-3252-7901 FAX.03-3252-7977